

【7】 芸術 の学習について

1 必修・自由選択科目について

- (1) 選択必修科目は、「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」です。
- (2) 自由選択科目は、「音楽Ⅱ」、「美術Ⅱ」、「書道Ⅱ」、「実用の書」です。

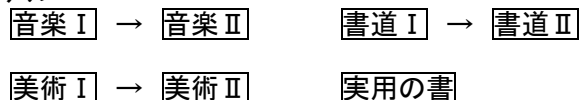
2 履修上の注意点

必ず、「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」の3科目から1科目を選択して履修してください。

3 芸術各科目の履修順序

- (1) 「音楽Ⅱ」、「美術Ⅱ」、「書道Ⅱ」はそれぞれ「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」を履修した後に履修してください。
- (2) 「実用の書」については、履修順序に関しては特に制限はありません。

4 履修モデル



5 芸術の教科目標、履修について

(1) 教科目標

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情が育つとともに、感性や芸術の諸能力を高め、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を身につける。

(2) 評価観点及びその趣旨、方法

ア 観点及び趣旨

音楽の観点

音楽への 関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を近くし、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わっている。

美術の観点

美術への 関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な美術の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	美術や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。

書道の観点

書への 関心・意欲・態度	書の創造活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な書表現 の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付けて表している。
鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

イ 評価の方法

音楽

観点 \ 項目	達成評価	活動評価			
関心・意欲・態度	実技	出席	教師の観察	提出物	自己評価
表現の創意工夫	実技		教師の観察	提出物	
表現の技能	実技		教師の観察	提出物	
鑑賞の能力	提出物		教師の観察	提出物	

美術

観点 \ 項目	達成評価	活動評価			
関心・意欲・態度	実技	出席	教師の観察	提出物	自己評価
構想と工夫	実技		教師の観察	提出物	
表現の技能	実技		教師の観察	提出物	
鑑賞の能力	提出物		教師の観察	提出物	

書道

観点 \ 項目	達成評価	活動評価			
関心・意欲・態度	実技	出席	教師の観察	提出物	自己評価 作品の感想
書表現の構想と工夫	実技		教師の観察	提出物	
創造的な表現の技能	実技		教師の観察	提出物	
鑑賞の能力	提出物		教師の観察	作品の感想	

(3) 実技・実習等

先生の指示に従うこと。また、用具の準備や管理をしっかり行うこと。

(4) 留意事項

特になし。

教科 芸術

科 目 名		音楽Ⅰ	単位数	2	履修区分	選択必修科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書		改訂版高校生の音楽 1 （友社）	
			使用教材		キーボード・リコーダー・ ギター・打楽器等	
履修の条件		① 音楽に興味、関心のある生徒 ② 1年次の履修が望ましい	教材費等		教材費として約3000円	
特 色	各自の適性に応じた幅広い音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育て、表現と鑑賞の能力を伸ばします。					
主 な 学 習 内 容	① 歌唱活動と器楽演奏による表現の工夫。 ② 音楽基礎知識の学習（音階のよみ方、リズムのよみ方、楽語等）。 ③ 音楽史の学習をふくんだ鑑賞。 ④ 音楽会計画の立案と実施。					
備 考						

科 目 名	音楽Ⅱ	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		改訂版高校生の音楽2 （友社）	
		使用教材		キーボード・リコーダー・ ギター・打楽器等	
履修の条件	音楽Ⅰを履修していること	教材費等		教材費として約3000円	
特 色	各自の適性に応じた多様な音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化についての理解を深め、表現と鑑賞の能力を伸ばします。				
主 な 学 習 内 容	① 歌唱活動と器楽演奏による表現の工夫。 ② 音楽基礎知識の学習（音階のよみ方、リズムのよみ方、楽語等）。 ③ 音楽史の学習をふくんだ鑑賞。 ④ 音楽会計画の立案と実施。 ⑤ 基礎的なソルフェージュ。				
備 考					

教科 芸術

科 目 名	美術Ⅰ	単位数	2	履修区分	選択必修科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書	高校生の美術1（日文）		
		使用教材	鉛筆		
履修の条件	① 美術に興味、関心のある生徒	教材費等	教材費として約4000円		
	② 1年次の履修が望ましい				
特 色	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばします。				
主 な 学 習 内 容	① 絵画 ・鉛筆デッサン ・水彩画 ・木炭デッサン ② デザイン ・色彩構成 ・切り絵 ・マーク（家紋） ③ 工芸 張り子 ④ 鑑賞 ⑤ 日本の美術 ・着物の柄（和柄）				
備 考					

科 目 名	美術Ⅱ	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		高校生の美術2（日文）	
		使用教材		鉛筆 水彩色鉛筆	
履修の条件	美術Ⅰを履修していること	教材費等		教材費として約4000円	
特 色	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高めます。				
主 な 学 習 内 容	① 絵画 ・鉛筆デッサン（自画像） ・水彩画（自画像） ・パステルデッサン（静物） ② デザイン ・平面構成 ・パズルのデザイン ③ 立体表現 ・木箱の装飾 ・（お面づくり） ④ 工芸 モザイク ⑤ 鑑賞 ⑥ 日本の美術 ・屏風画				
備 考	美術Ⅰで使った水彩色鉛筆と水筆および美術Ⅰの教科書を持ってきてください。				

教科 芸術

科 目 名		書道Ⅰ	単位数	2	履修区分	選択必履修科目
対象の部	午前 午後 夜間		使用教科書	書Ⅰ（光村）		
			使用教材	筆・墨・半紙・半切用紙・ 陶板・ロール紙等		
履修の条件	① 書道に興味、関心のある生徒 ② 1年次の履修が望ましい		教材費等	教材費として約3000円		
特 色	① 中学校までの書写の学習に基づいて書写能力を高めます。 ② 古典の臨書学習をします。 ③ 身近な詩歌や文章、語句などを素材として、漢字仮名交じりの作品を創作します。 ④ いろは歌など、仮名を学習します。					
主 な 学 習 内 容	① 漢字の書（楷書・行書） ② 漢字仮名交じりの書（硬筆・毛筆） ③ 仮名の書 ④ 鑑賞					
備 考						

科 目 名		書道Ⅱ	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書		書道Ⅱ（東書）	
			使用教材		筆・墨・半紙・半切用紙・セラミックボード等	
履修の条件		書道Ⅰを履修していること	教材費等		教材費として約3000円	
特 色	① 古典の臨書学習をします。 ② 篆書の学習をします。 ③ 硬筆・毛筆で漢字仮名交じりを学習し、作品を創作します。 ④ 隷書の学習をします。 ⑤ セラミックボードに刻字して作品に仕上げます。 ⑥ 鑑賞					
主 な 学 習 内 容	① 漢字の書（篆書・楷書・行書） ② 漢字仮名交じりの書 ③ 仮名の書 ④ 鑑賞					
備 考						

教科 芸術

科 目 名		実用の書	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後	使用教科書	硬筆レッスン帳 （教図）（予定）		
			使用教材	準教科書・小筆・のし袋・ はがき・封筒・ セラミックボード等		
履修の条件		特になし	教材費等	教材費として約３０００円		
特 色	① 基本的な線の書き方や字形のとり方を学習します。 ② のし袋や手紙等の書き方を学習します。 ③ 刻字作品など、部屋に飾って楽しめる作品を創作します。					
主 な 学 習 内 容	① 硬筆・毛筆（楷書・行書） ② のし袋の表書きの実習 ③ 手紙やはがきの書き方の実習 ④ 刻字 ⑤ 鑑賞					
備 考						